

地域交流

中学生ブリッジコンテスト/（一社）山口県建設業協会
第61回岩国祭/岩国支部



太陽建機レンタル株の協力による作業車体験



雨の中コーナーには行列が



上:プレゼンテーションの様子
右:盛り上がる会場



■みなぎる創造力にもつくりの未来が輝く「第6回中学生ブリッジコンテスト」開催！

中学生にもつくりの楽しさを体験してもらい、建設業や土木・建築系専攻科のある実業高校に興味を持ってもらうことを目的に実施している「中学生ブリッジコンテスト」が8月25日、26日の2日間、下松市のザ・モール周南「海の広場」にて開催されました。

（徳山商工高校主催、（一社）山口県建設業協会、（一社）中国建設弘済会共催）

今回は県内4中学校から25名が参加し、31名の徳山商工生徒が中学生をサポートしました。

1日目は「ブリッジ製作」。橋の構造を学び、基本の橋の模型を作ります。使用するのは、バルサ材と呼ばれる軽量の木材。参加した中学生一人ひとりに高校生の指導役が付き、木材の切り方や接着方法のコツを丁寧に教え、基本の橋を制作。その後コンテスト用のオリジナル橋を作り上げました。

2日目は「コンテスト」です。広い吹き抜けの会場には4名の審査員と関係者のほか、休日ということもあり、買い物に訪れていたたくさんの人が足を止め、コンテ

■「第61回岩国祭」で建設業をPR！

10月15日、J R 岩国駅周辺を中心に開催された「第61回岩国祭」に岩国支部の青年部から12名が参加し、建設業をPRしました。

当日はあいにくの雨模様となりましたが、岩国建設会館前に設置した「けんせつきかい体験コーナー」には、開始時間の10時から多くの家族連れが訪れ、ラジコンのパワーショベルを使ったお菓子のすくい取りゲームや、建設機械のプラモデルなどが当たるくじ引き、また太陽建機レンタル株の協力のもと行われたパワーショベルや高所作業車体験を楽しんでいました。

岩国支部、青年部部長の藤川偉大さん（㈱藤川興業所 専務取締役）にお話を伺うと「岩国祭には8回目の参加となりますが、今回は太陽建機レンタル株の社員さんにも協力してもらい、初めて高所作業車体験も実現しました。建設業の魅力が少しでも多く感じてもらえたら嬉しいですね」と話していました。

イベント会場では建設業への理解を深めようという「全国建設業協会作成の建設業界パンフレットや社会貢献活動のPRチラシ」の配布も行われました。

岩国支部では災害時の復旧活動はもちろん、春の一斉清掃に参加するなど地域貢献活動を行っています。またインターシッピングの受



手に汗握る強度コンテスト

はじめに橋の特徴や工夫した点などを発表するプレゼンテーションが行われました。参加者からは「できるだけ隙間をなくして強度を増した」「重さを分散させるような構造にした」など、強度という観点ひとつにおいてもさまざまなアプローチが見受けられました。

その後、橋の重さを測定し、より軽い橋を決める「質量コンテスト」を実施した後、1キロずつ最大5キロまで載荷させていく「強度コンテスト」を実施。大きくたわみながらも重さに耐える橋や載荷した瞬間に橋脚がはじけ飛ぶ橋など、見応え満載のコンテストとなり、会場は歓声とどよめきに包まれました。



左:藤川偉大さん(㈱藤川興業所専務取締役)
右:藤田和正さん(藤田工業㈱代表取締役)

け入れも積極的に引っ掛けており、担い手の確保にも励んでいます。

「建設業の魅力はなんといっても、地図にないものが出来上がることです。ただのイメージだったものが目の前で実際に造り上げられていく。建設業でしか味わえない感動があります」と藤川さん。また同じくイベントの運営を行っていた藤田和正さん（藤田工業㈱代表取締役）にもその魅力を伺うと「自分が携わった建造物がおそらくは死ぬまで残る。責任とやりが



接戦の中、見事優勝に輝いたのは光市立浅江中学校3年の高重一輝くんの「ザ・ラスト サンライズブリッジ」。構造の精度の高さが優勝の決め手となりました。受賞後、高重くんは「3年連続で出場して、やっと優勝できた！という気持ちです。ものづくりが大好きなので、これからも色々なものを作ってみたい」と嬉しそうに話してくれました。指導役を努めた徳山商工の山本新くんは「自分としてはあまり分りかややく教えられなかったのに、高重くんが優勝してくれて本当に嬉しいです」と感想を語ってくれました。



優勝した高重くん(右)と指導役の山本くん(左)

実行委員長の松井幸司先生は「構造・質量・強度とも、年を追うごとに作品のレベルが上がっておりびっくりしています。その分サポートする高校生もしっかりと勉強しておかないと教えられないので、中学生と高校生がお互いに高め合っていければいいと思います」と話していました。

大会会長を務めた徳山商工高校・辻岡博之校長は「ブリッジコ

松井先生(左)と辻岡校長先生(右)



ンテストは、参加する中学生にとってもサポートする高校生にとっても、思考力・判断力・表現力、また社会との関わりという点においてとても良いトレーニングになると思います。ものづくりに留まらず、この経験が一人ひとりの人生の糧となってくれたら嬉しいですね」と、ハイレベルなコンテストに目を細めていました。



いのある仕事です。今後は地元の実業高校などに声をかけをし、このイベントと一緒に盛り上げるとともに、建設業の魅力を伝えていけたら」と話していました。

さまざまな活動の中で、地域を守り、盛り上げ、建設業を振興していく。雇用の側面からも、この活動が地域と建設業の活性化の一端になることを願っています。

県内では他にも、下関支部が「長府企業フェスタ」に、長門市部が「みすみふるさとまつり」に参加し、地域の方々に建設業をPRしました。



下関支部「長府企業フェスタ」



長門市部「みすみふるさとまつり」

平成29年度の建設業PRイベント活動一覧

支部名	参加イベント	活動内容	実施日
下関	第15回長府企業フェスタ	「重機で遊ぼう!」「道路豆知識クイズ」等	10月7日、8日
岩国	第61回岩国祭	「けんせつきかい体験コーナー」	10月15日
長門	みすみふるさとまつり	「防災・重機体験コーナー」	10月15日